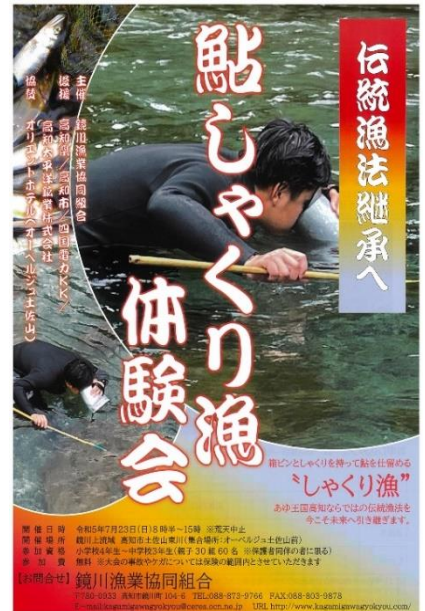


新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

鏡川を後世に伝えたいという想いを込めて、「鮎しゃくり漁体験会」が開催されました！

7月23日(日)に、鏡川漁業協同組合(以下、『鏡川漁協』)主催の「鮎しゃくり漁体験会」が開催されました！鏡川漁協は、まちのコイン「ぼっちり」のスポット登録や体験チケットの発行などを通じて日頃から鏡川の清流保全と一緒に取り組んでいます。



「鮎しゃくり体験会」の開催に合わせて「ぼっちり」の体験チケットが発行されました！

今回の「鮎しゃくり漁体験会」の開催について、鏡川漁協から
 〳 想いがこもったレポートをいただいたのでご紹介します！ 〵

開催のきっかけは、組合員の方から、「昔の子どもたちは毎日川で遊び、しゃくり漁や金突きなどの伝統漁法も自然と身につけていた。現代の子どもたちにも、伝統漁法や川への親しみを継承していただきたい」と要望をもらったからでした。

「体験会を通して、また川へ遊びに行きたいと思ってもらいたい、そして、子どもたちが親になった時、子どもを連れて、また鏡川を訪れてもらいたい」という願いを込めて、体験会を開催しました。



子ども 19 名、保護者 18 名、合計 17 組の参加がありました！会場となる支流東川川は、山に囲まれた自然豊かな清流です。



最初はなかなか捕れません。アユに翻弄され、必死にひっかけようとして網に針を引っかけたり、捕れたと思っても竿を上あげてアユを逃がしてしまったり…。

しかし、さすが子どもたち！1匹捕れるとコツを掴み、大体5匹から7匹は捕まえていきました。保護者の方はアユを入れるカゴを持ち、子どもと一緒に川に入り、子どもが捕ったアユをカゴに入れて針を外す役目です。「ほら、そこ」「右見て、右！」と一緒に声をかけ、賑やかな声に包まれた1日でした。



高知市を流れる鏡川は、他の河川から比べると本当に小さな川ですが、自然の恵みや陸封アユも豊富です。鏡川の中・上流は、清流と言っていいくらい川も澄んでいます。

気軽に訪れることのできる鏡川に、是非訪れていただきたい。自然いっぱいの鏡川を堪能いただきたいです。

鏡川漁業協同組合



鏡川漁協のHPでは、「鮎しゃくり体験会」の詳細や、その他の鏡川でのイベント情報など、鏡川の魅力を随時紹介しています！ぜひご覧ください♪

鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

